

平成 21 年 11 月 2 日

各 位

上場会社名 株式会社 電 響 社
代表者名 代表取締役社長 藤野 博
コード番号 8144 大阪証券取引所 第二部
問合せ先 常務取締役管理本部長 辻 正秀
(TEL 06-6644-6711)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正
(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	16,700	120	390	225	円 銭 17 80
今回修正予想(B)	15,889	45	306	131	10 43
増減額(B-A)	△811	△75	△84	△94	—
増減率(%)	△4.9	△62.5	△21.5	△41.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	12,873	△141	203	105	8 27

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正
(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	39,700	450	1,200	700	円 銭 55 39
今回修正予想(B)	38,000	200	1,000	540	42 73
増減額(B-A)	△1,700	△250	△200	△160	—
増減率(%)	△4.3	△55.6	△16.7	△22.9	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	27,957	△182	620	△9	△0 73

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正
(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,800	50	300	170	円 銭 13 45
今回修正予想 (B)	7,358	6	201	73	5 85
増減額 (B - A)	△1,442	△44	△99	△97	—
増減率 (%)	△16.4	△88.0	△33.0	△57.1	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	8,177	△176	181	97	7 70

平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正
(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	19,500	200	900	520	円 銭 41 15
今回修正予想 (B)	18,000	100	750	400	31 65
増減額 (B - A)	△1,500	△100	△150	△120	—
増減率 (%)	△7.7	△50.0	△16.7	△23.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	17,794	△227	567	△6	△0 49

修正の理由

当第 2 四半期累計期間は、景気停滞局面の中で、非常に厳しい経営環境が続きました。当社グループの主たる事業である電気商品卸販売事業におきましては、冷夏による夏物商品の不振と同業他社との価格競争激化等により、販売面でかなり苦戦を強いられ、また、利益面におきましても前年同期より回復したものの、営業利益、経常利益及び四半期純利益は当初予想を下回る見込みであります。

これにより、連結・個別とも、第 2 四半期累計期間の業績修正を行うものであります。

通期におきましては、連結・個別ともに、オリジナル商品の販売の強化等、積極的な営業政策を推し進め、更なる経費の削減を図り、下半期の業績は回復するものと見込んでおります。

しかしながら、上半期の未達成分をカバーするまでには至らないと判断し、通期の当初予想を修正するものであります。

※上記の業績予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は経済情勢、今後の様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上